

中央大学 記念講演

アフリカの現在と今後のポテンシャル  
～リープフロッグイノベーションの衝撃～

Asia Africa Investment & Consulting (AAIC) 代表パートナー  
椿 進

2021年 11月



## ご紹介

### 樫 進 代表パートナー



(株)ボストンコンサルティンググループ(BCG)、パートナー・マネージングダイレクターとして、ハイテク、情報通信、インターネット、メディア・コンテンツ分野において、事業戦略、M&A戦略、新事業立ち上げ、グローバル化等プロジェクトを実施。95年-96年にはサンフランシスコオフィス勤務。大手通信会社、大手携帯電話会社、大手電機メーカー、大手ハイテク部材企業、大手ゲーム会社、大手テレビ局、IT・ネット企業、消費財企業などのコンサルティングを15年にわたって経験。

2006年より上場会社代表取締役社長に就任。(株)タカラトミー、(株)竜の子プロダクション、(株)アトラス 等 などの社外取締役を歴任。

2008年に現アジア・アフリカ・インベストメント&コンサルティング(AAIC)社を創業。代表取締役社長/代表パートナー就任

中国・東南アジア・インド・中東・アフリカなどの新興国において、新規事業育成、市場参入支援、M&Aおよびパートナー探索支援、事業転換支援など、コンサルティングと投資を通じて実施。2014年には日本初のアフリカ専用のファンドを組成。現在はアフリカ・ヘルスケア・ファンド(AHF)を運営中。

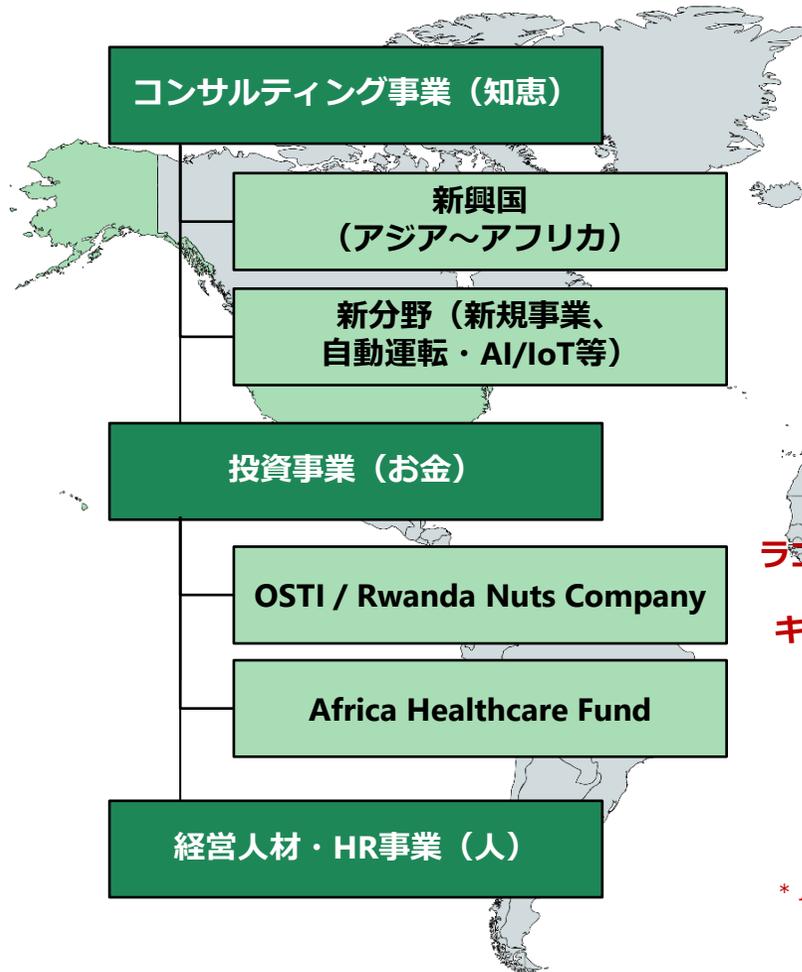
「超加速経済アフリカ: LEAPFROGで変わる未来のビジネス地図(東洋経済新報社)」 「日本企業のグローバル戦略入門(プレジデント社)共著」他執筆・講演多数

ビジネスブレークスルー大学、 ビジネスブレークスルー大学大学院  
経営学研究科経営管理専攻(MBA) 教授

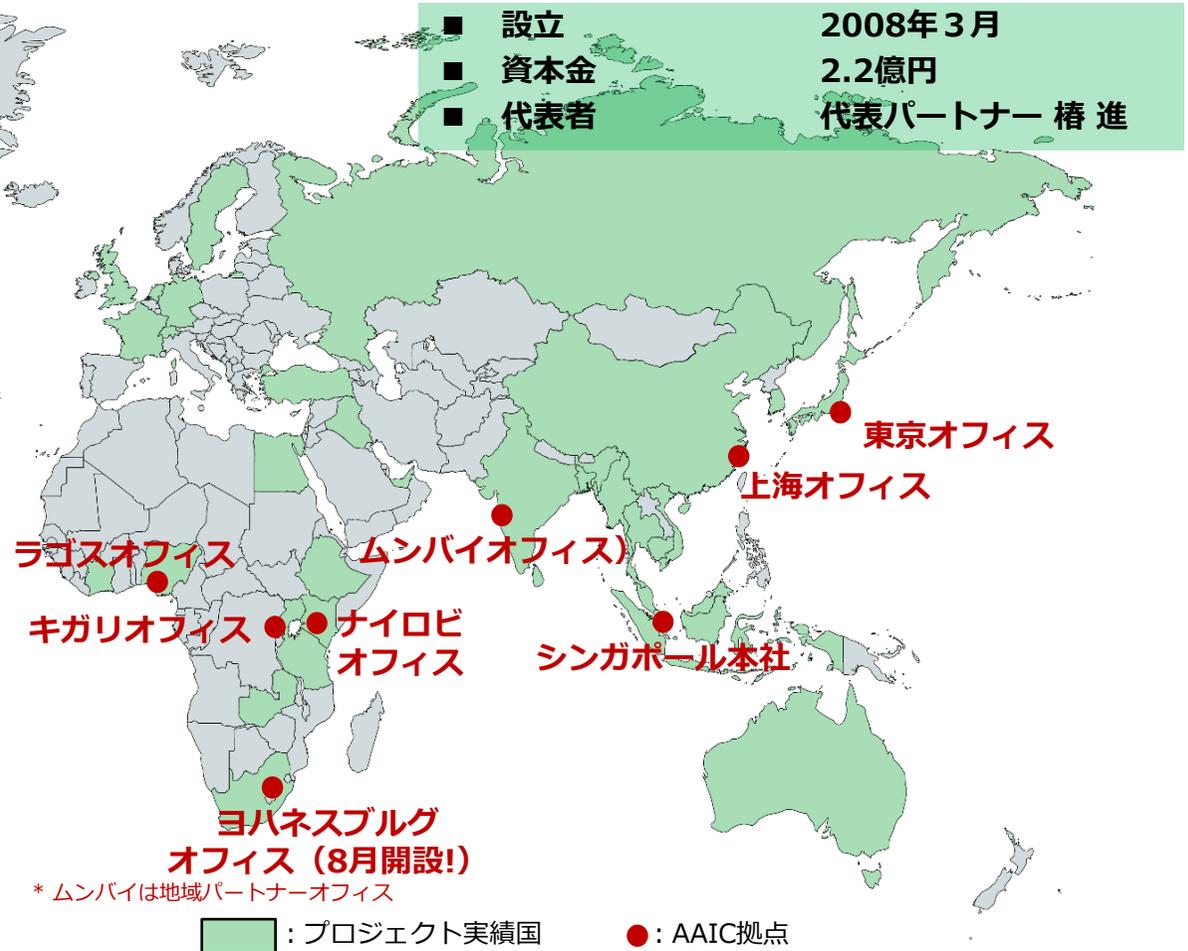
東京大学教養学部基礎科学第一学科卒

# AAICの概要

## 事業内容



## 事業拠点



**ミッション 「フルコミットでの成長支援を通じて、新興国・新分野で、新しいことに挑戦し、新しい価値を創造します」**

# LEAPFROG



## 超加速 経済 アフリカ

椿進  
Susumu Tsubaki

“人類発祥の地  
「アフリカ」が  
いよいよ来た!”

大前研一



現地情報×ファクトフルネスで  
知識をリカレントする  
新感覚ビジネスパーソンの教養書!

氏推薦!

で変わる未来のビジネス地図

超加速経済アフリカ:  
LEAPFROGで変わる未来のビ  
ジネス地図

東洋経済新報社  
2021/5/28 発売

アマゾンで「世界の経済事情」  
で第1位  
発売2か月で5刷

東洋経済新報社

# AAICのアフリカでの経験および実績

## 日系戦略コンサル会社として初のアフリカオフィスを開設

- ナイロビ（日本人2名+現地）、キガリ（日本人3名+現地）、ラゴス（日本人2名+現地）、ヨハネスブルグ（日本人1名）



- ★ オフィスロケーション
- ★ コンサルティング実績
- ★ 投資実績 ☆ 投資予定

## 自社のアフリカ事業も実施

- ルワンダでのアグリビジネスへの投資と経営を実施「ルワンダ・ナッツ・カンパニー」

## 日本初のアフリカ専用ファンドを設立、アフリカへの豊富な投資実績

- TOYOTA TSUSHO CSV Africa
- **Africa Healthcare Fund(AHF)** 1号ファンド（運用中）  
- 2021年10月末 30社投資

## アフリカビジネス50年以上の強力なアドバイザーチーム

- 佐藤芳之氏（在アフリカビジネス50年、ケニア・ナッツ創業者）、Dr Amit(Africa Healthcare Federation 会長/ケニア医師会会長) 他

## アフリカでの豊富なコンサルティング経験

- 北アフリカ、東アフリカ・西アフリカ、南アフリカなどで多数のプロジェクトを実施（市場調査、進出支援、代理店探索、M&A支援、投資支援他）

## アフリカでの豊富なネットワーク

- 豊富な現地企業とのネットワーク
- 現地政府機関・国際機関との深いネットワーク
- 元BCGパートナーのネットワーク
- 現地での豊富なビジネス経験者
- JETRO、JICA、外務省等、進出日系企業 他

# ルワンダナッツカンパニーでは、現地にて350名の雇用を創出し、外貨獲得、 契約農家2000世帯（約1万人）の生活水準向上/女性のエンパワメントに貢献



ルワンダ・ナッツ・カンパニー 株式会社  
Rwanda Nut Company Ltd.

ホーム

製品・グループ

会社情報

お問い合わせ

2013年創業

「千の丘の国」ルワンダが育んだ  
こだわりのマカデミアナッツ



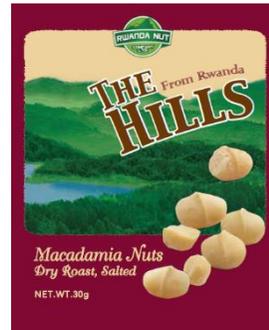
製品とグループ



ビジョン



会社情報



# 内容

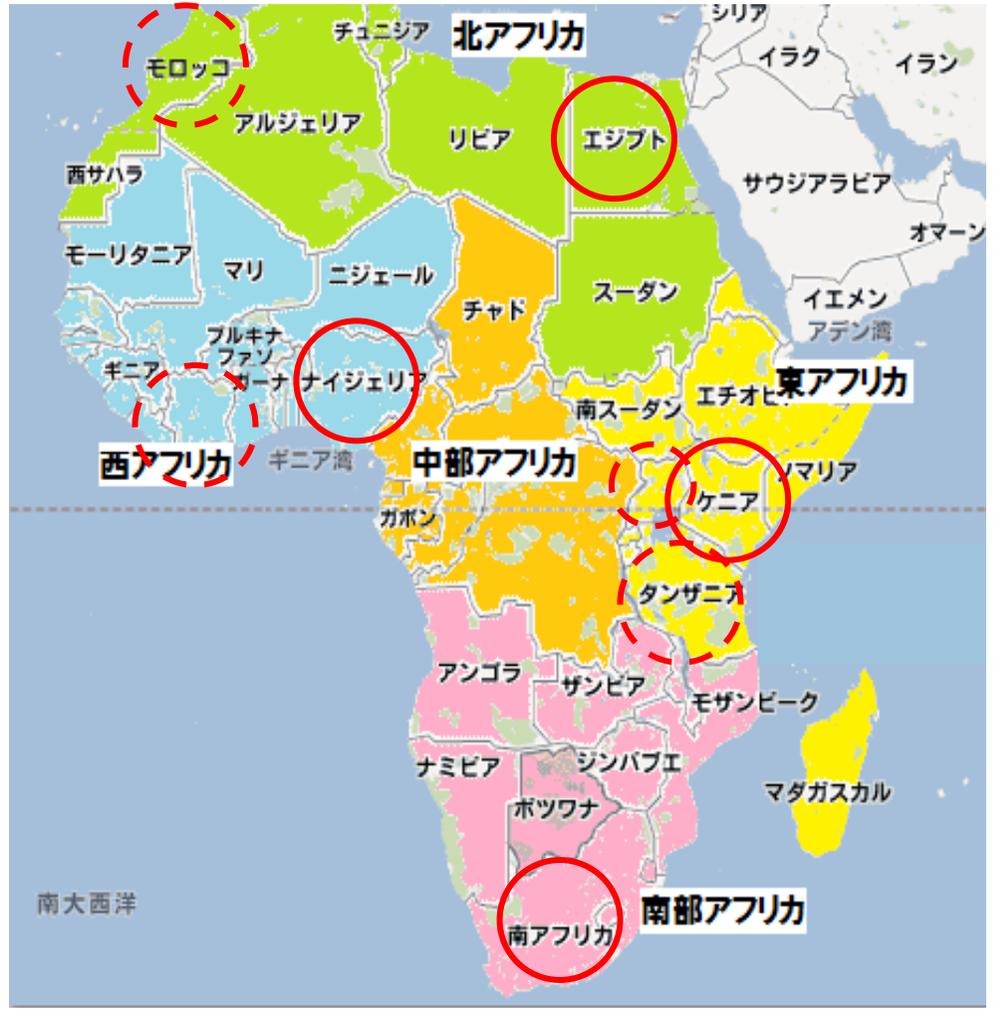
## 始めに

### 「超加速経済アフリカ」

- ディスラプティブイノベーションとタイムマシン
- 投資先の事例

## 今後への示唆

# 資本主義最後の成長大陸 アフリカ



## 最後の成長地域

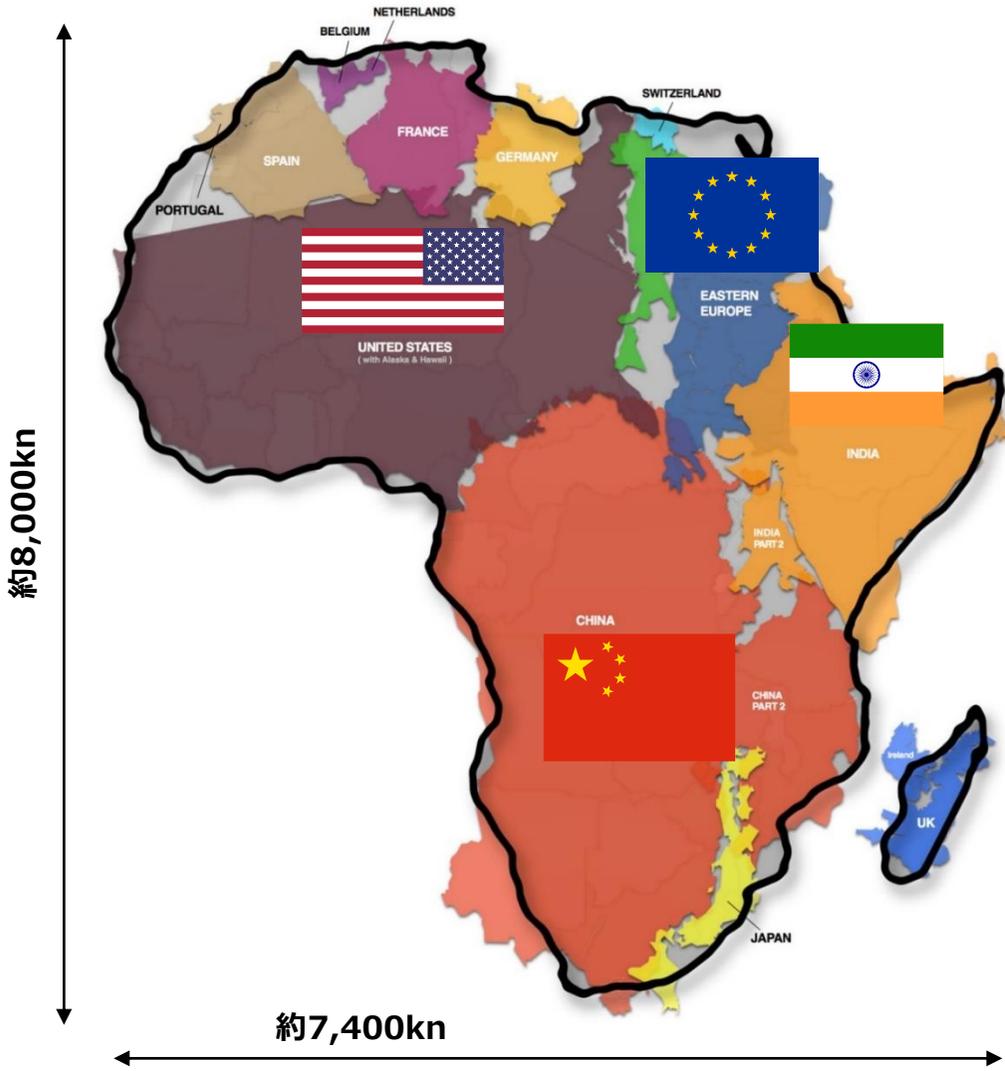
- 54か国
- 人口激増  
10億人 (2011年)  
→ 35億人 (2100年)
- GDPが急拡大(サブサハラ)  
4000億ドル (2000年)  
→ 1.8兆ドル (2019年)
- 政治の安定
- 海外帰国組
- 資源・エネルギー開発
- 中国投資
- 世界からの投資  
など

中国ラッシュ 2003年～

注： 為替レート 1US\$ = 100 JPYとして算出  
 出所： 人口 - IMF, World Economic Outlook Database April 2013  
 面積 - 外務省、各国・地域情勢  
 GDP - IMF, World Economic Outlook Database April 2013 The World Bank

# アフリカはでかい！

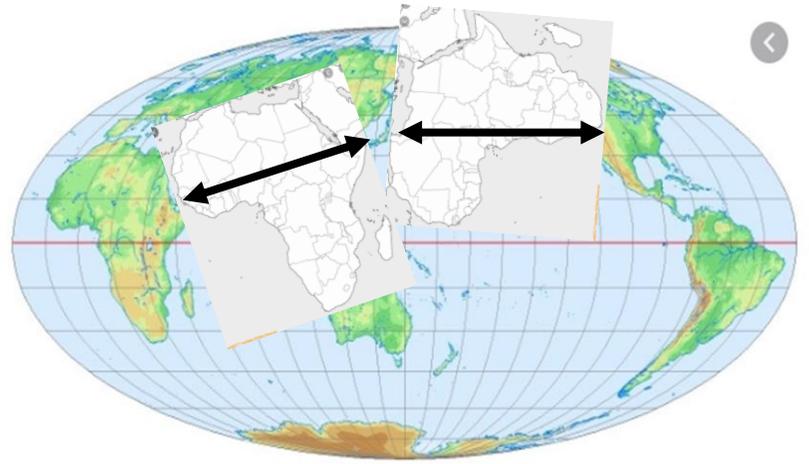
## アメリカ、中国、インド、EU主要国を足し合わせたよりも広い



### アフリカ大陸のスケール

- 54か国合計で3,022万km<sup>2</sup>
  - 日本の面積の**約80倍**
- 縦8,000km、横7,400km程度
  - 日本からアフリカまで**約10,000km**

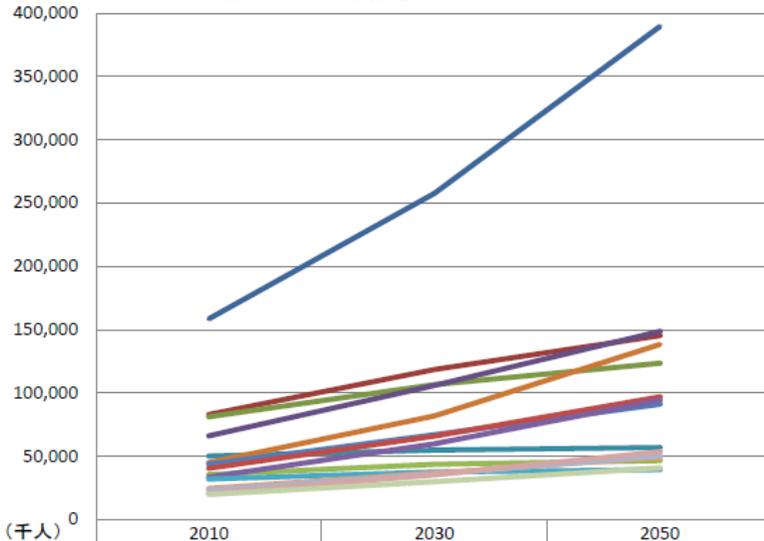
縦8000km  
東京- シアトル 7687km  
東京-ドバイ 7935km



横7400km:  
東京-ムンバイ 6738km  
東京-モスクワ 7493km

# アフリカは若い！

【アフリカ TOP 15ヶ国の人口推移】



(千人) <sup>0</sup>	2010	2030	2050
ナイジェリア	158,423	257,815	389,615
エチオピア	82,950	118,515	145,187
エジプト	81,121	106,498	123,452
コンゴ民主共和国	65,966	105,956	148,523
南アフリカ	50,133	54,711	56,757
タンザニア	44,841	81,852	138,312
スーダン	43,552	66,856	90,962
ケニア	40,513	65,928	96,887
アルジェリア	35,468	43,475	46,522
ウガンダ	33,425	59,846	94,259
モロッコ	31,951	37,502	39,200
ガーナ	24,392	36,537	49,107
モザンビーク	23,391	35,907	50,192
マダガスカル	20,714	35,333	53,561
コートジボワール	19,738	29,823	40,674

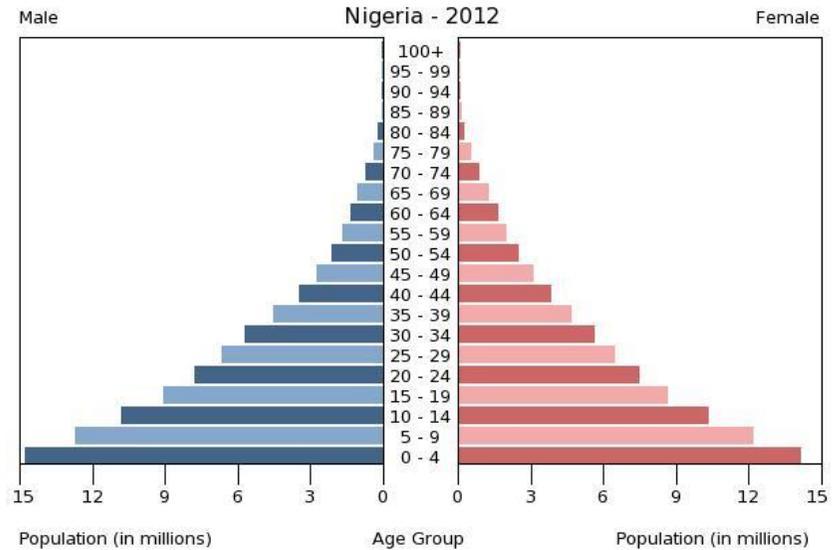
出所: UNPD World Population Prospects 2010 Revision

【アフリカ TOP 15ヶ国中位年齢の変化】

(歳)

国名	2010	2030	2050	国名	2010	2030	2050
ナイジェリア	18.5	19.8	23.1	アルジェリア	26.2	35.3	42.0
エチオピア	18.7	25.2	32.5	ウガンダ	15.7	18.1	22.0
エジプト	24.4	30.5	36.9	モロッコ	26.3	34.0	40.8
コンゴ民主共和国	16.7	20.1	25.2	ガーナ	20.5	24.1	28.7
南アフリカ	24.9	29.1	33.5	モザンビーク	17.8	20.5	24.3
タンザニア	17.5	18.2	20.9	マダガスカル	18.2	21.3	25.1
スーダン	19.7	23.5	28.2	コートジボワール	19.2	22.8	27.3
ケニア	18.5	20.8	24.6				

出所: UNPD World Population Prospects 2010 Revision

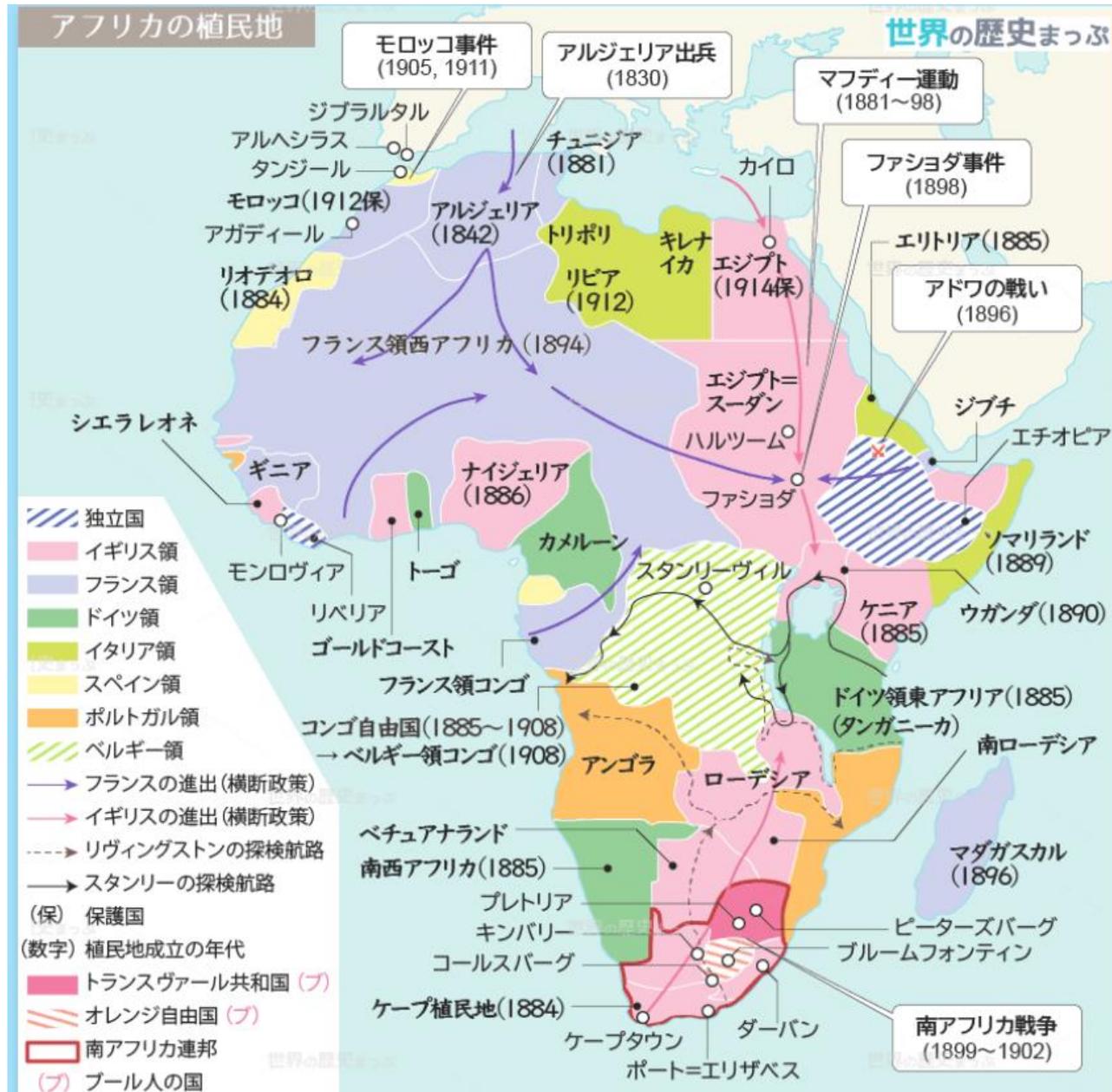


中位年齢も各国15歳～26歳 (日本は48.9歳、2020年)

# アフリカの基礎データ

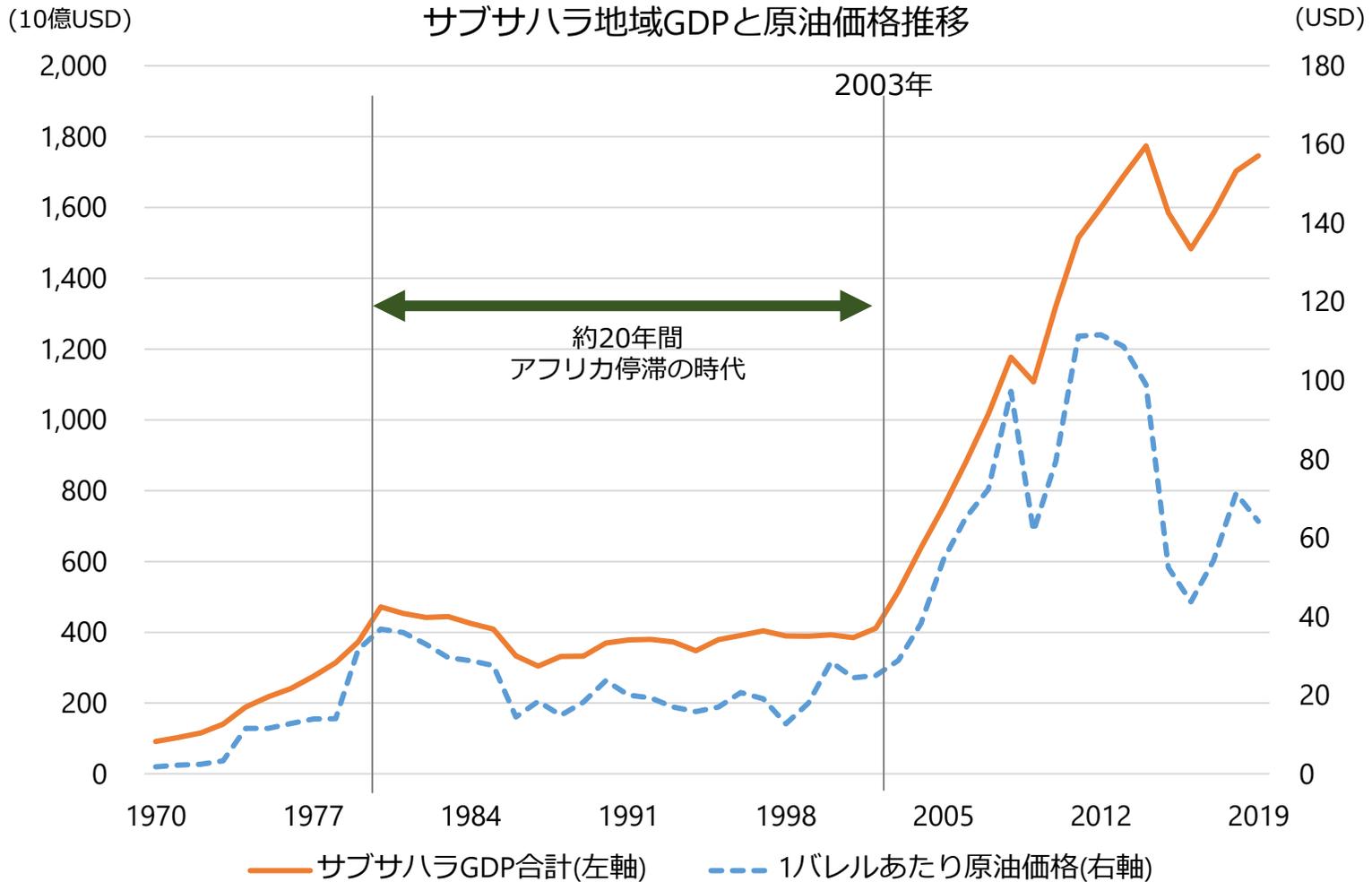
			アフリカ	中国	インド
人口	2017年	億人	12.6	14.2	13.4
	2050年	億人	25.3	13.7	16.6
	2100年	億人	44.7	10.3	15.2
	人口増減率 2050年/2017年	%	101	-3	24
	人口増減率 2100年/2017年	%	256	-27	13
経済	GDP成長率 (2017年)	%	3.7	6.9	6.7
	一人当たり名目GDP (2017年)	ドル	1,825	8,643	1,983
IT インフラ	インターネット利用者数 (2016年)	億人	1.9	7.6	3.9
	インターネット浸透率 (2016年)	%	15.5	53.4	29.6
	携帯ユーザー数 (契約数ベース) (2016年)	億人	9.8	13.8	11.3
	携帯ユーザー人口比率	%	80.0 <small>→98% (2020)</small>	97.9	85.2
	在留邦人数 (2017年)	千人	7.6	124.2	9.2
	在留中国人数 (2011年、推定)	千人	約1,100	-	N/A

# アフリカの植民地歴史



出所：世界の歴史まっぷ

# 2003年から急成長した サブサハラ地域GDPと原油価格推移



注：原油価格は-1983年はRas Tanura(サウジアラビアの最大の原油積出港)の価格、1984年以降はブレント(Brent)原油価格  
出所：United Nations、BP Statistical Review of World Energy

# 内容

## 始めに

### 「超加速経済アフリカ」

- ディスラプティブイノベーションとタイムマシン
- 投資先の事例

## 今後への示唆

# M-PESA (サファリコム、ケニア) : モバイル決済・送金



2018年時点で年間のトランザクションが5兆円規模へ  
(ケニアのGDPの半分、全銀行トランザクションの2倍)

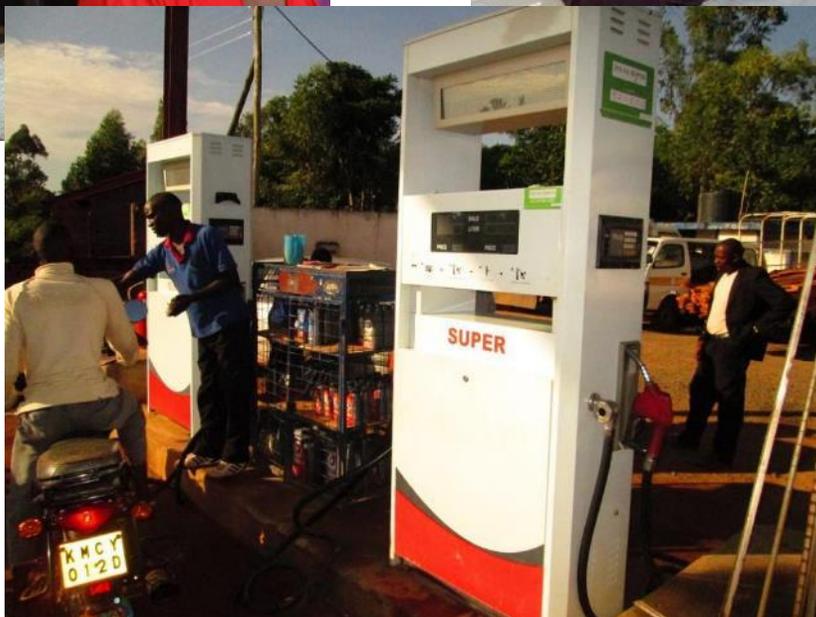
# オフラインの実店舗でも店舗側の提示するコードを入力することで簡単にM-PESA決済を行うことができる (LIPA NA M-PESA機能)



(上) ファストフードチェーンSteers

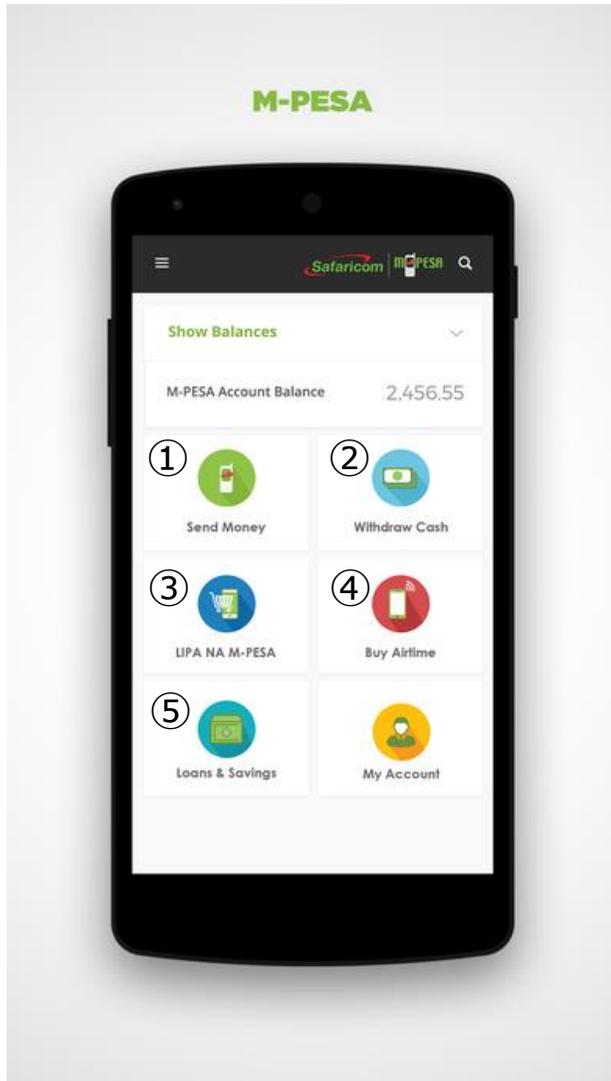


(上) スーパーマーケットチェーンNavias



(左) ガソリンスタンド

## 送金・引き出し、決済、携帯代チャージに加え 銀行と連携したローン・預金機能も備える



### ① 送金

- M-PESAユーザーだけでなく、非M-PESAユーザーにも送金可能（送金先の携帯番号を入力する）

### ② 現金引き出し

- M-PESA代理店にてデポジット残高から現金を引き出すことができる

### ③ 決済

- 支払先のコードを入力し金額を指定すれば簡単に支払いができる
- 電気代・水道代といった公共料金その他、ECサイトでの購入、提携オフライン店舗での支払いなども可能

### ④ 携帯代チャージ

- Safaricom以外のキャリアのトップアップも可能
- 自分用のチャージのみならず、知り合いの分のトップアップをすることもできる

### ⑤ ローンと預金

- KCB銀行の提供する機能として、M-PESAからローンを組んだり定期預金や目標額を決めた預金を行ったりすることができる

## 事例：M-Kopa Solar（ケニア）

ソーラーパネルと接続し、未電化地域でも使える照明器具をアフリカで販売

参考



# Products

参考

## M-KOPA 5 Solar Home System



Kenya

Uganda

50 /=

Per day + 2,999 /= deposit

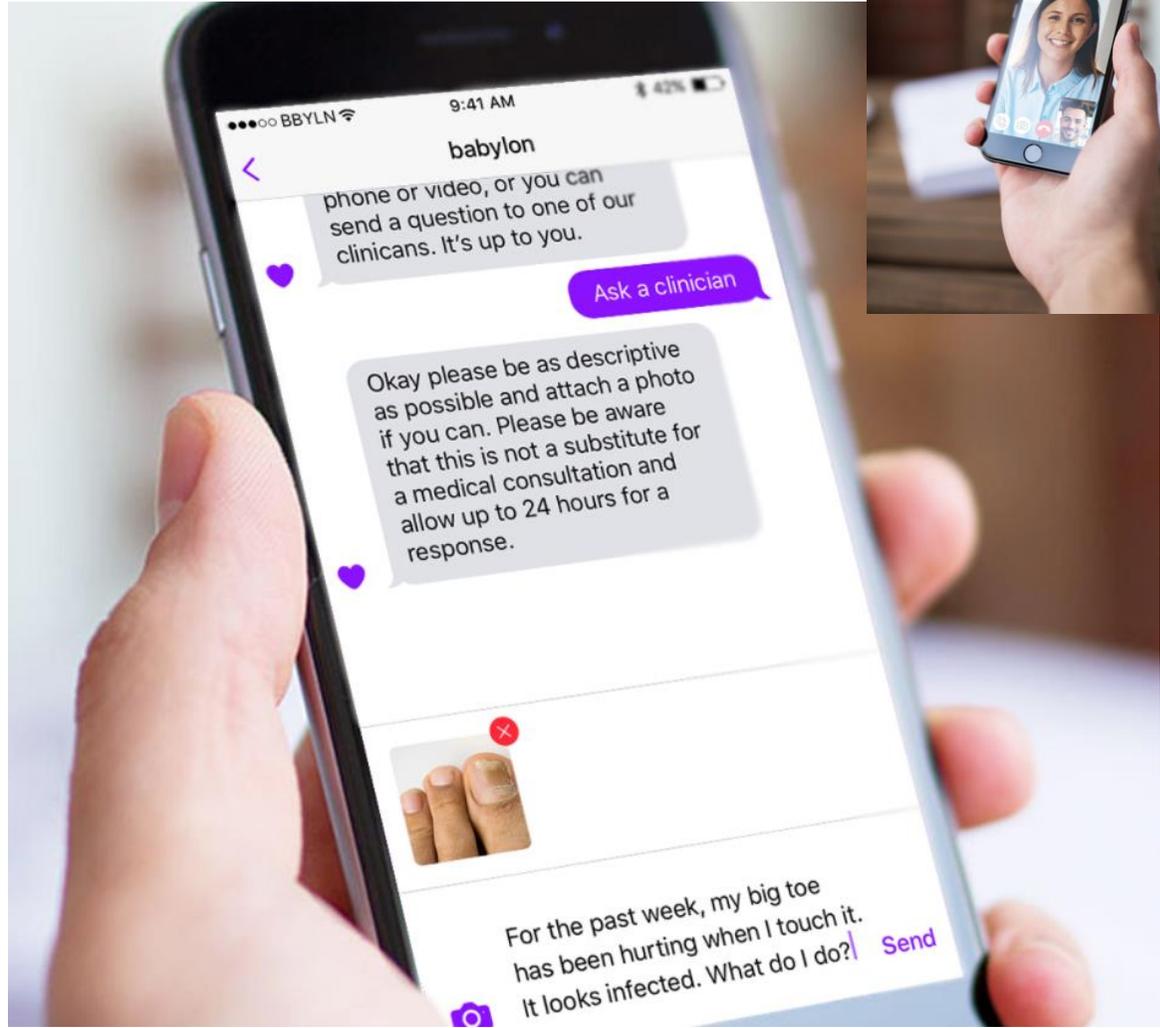
- M-KOPA 5 Control Unit with Lithium Battery
- 8W Solar Panel
- 4 Bright, 1.2W LED Bulbs
- Rechargeable Torch
- Rechargeable FM/USB Radio
- 5-in-1 Phone Charge Cable
- Custom Charge Cable

## M-KOPA 5 Solar Home System

### Affordable

Customers buy the solar home system on an affordable M-KOPA payment plan, with an initial deposit followed by daily payments for up to one year. After completing payments, customers own the

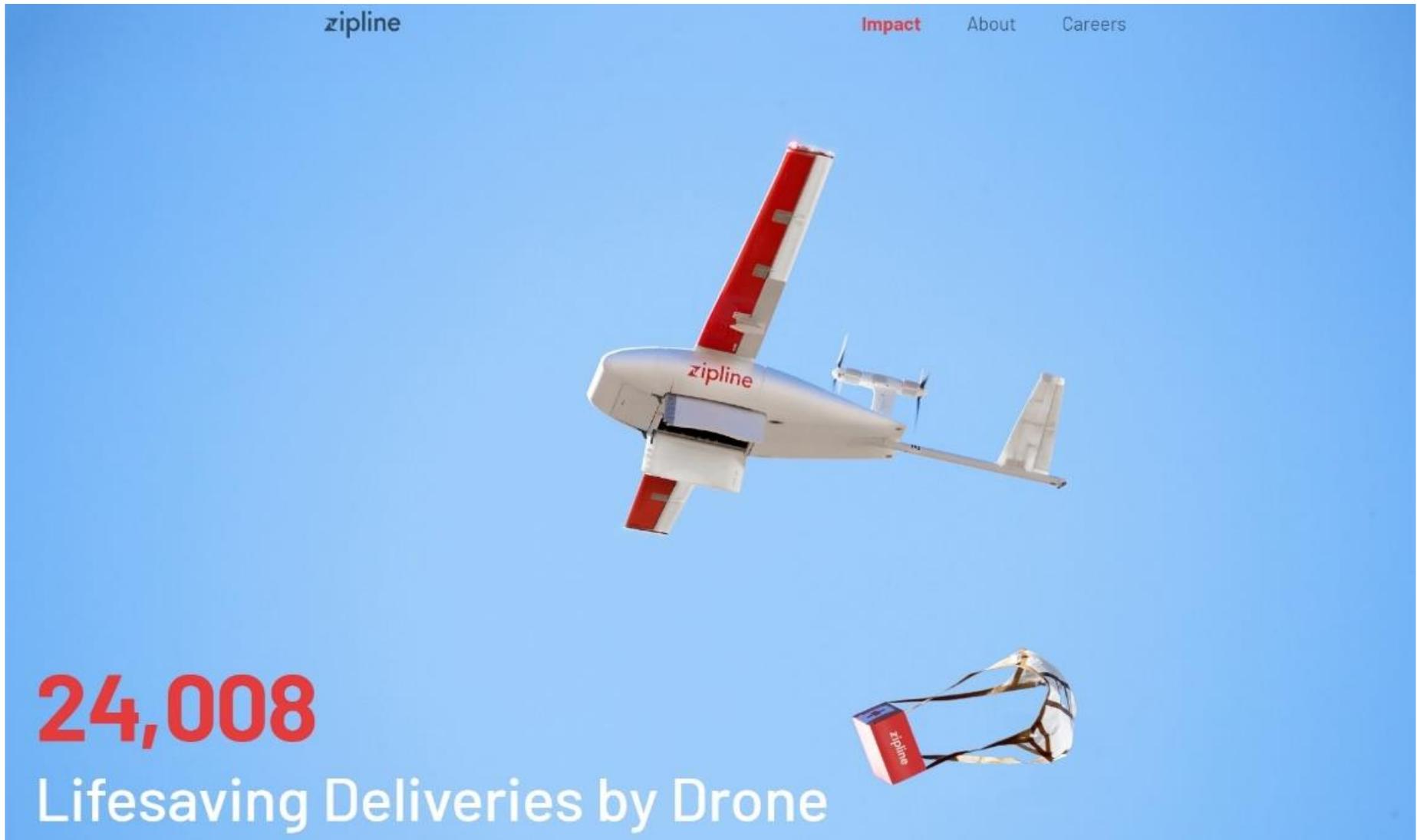
# Babylon AI診断ベンチャー (英、ルワンダ)

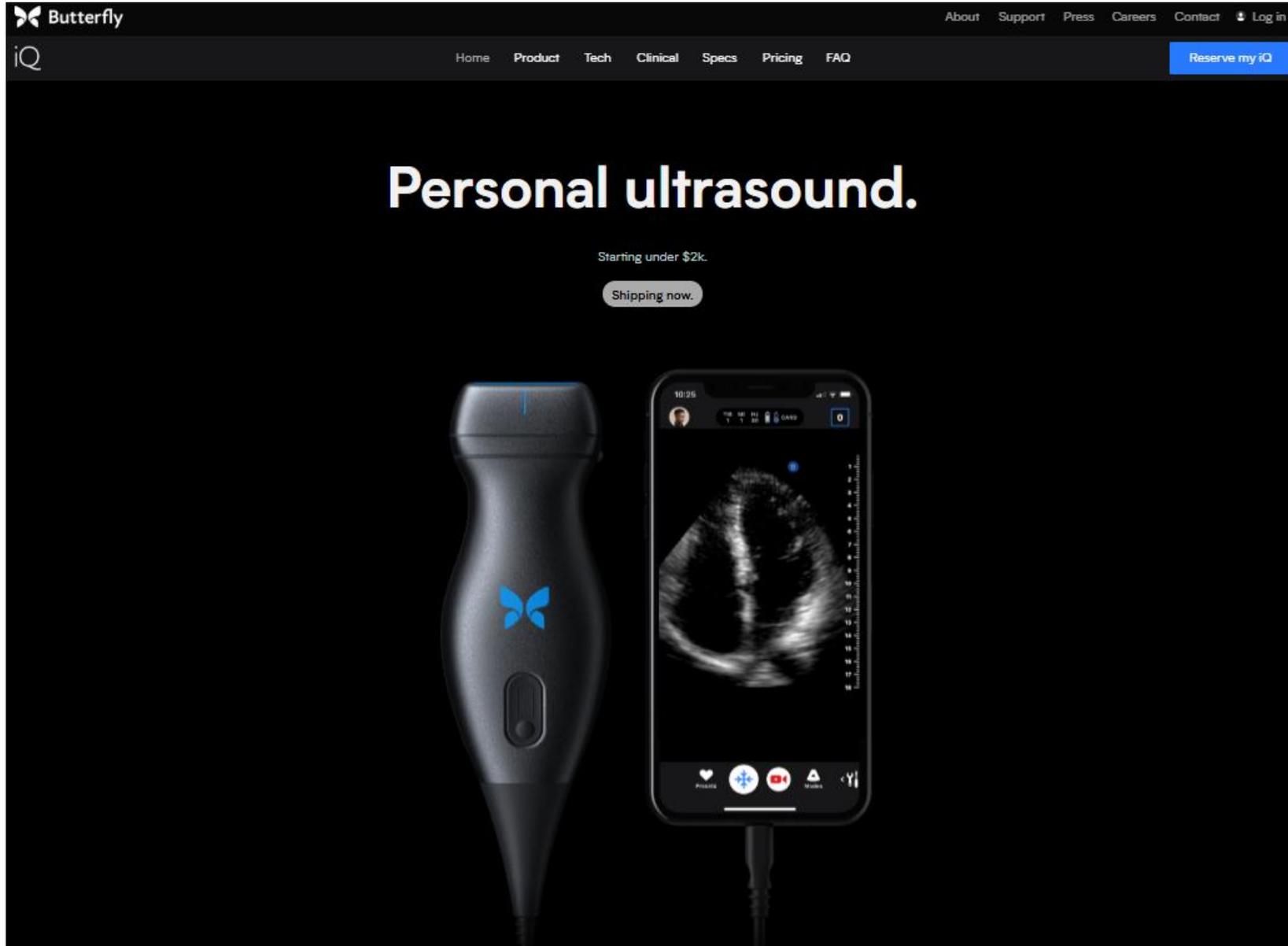


- Babylonのアプリはイギリス、アイルランド、ルワンダで提供され、既に100万回以上ダウンロード。
- ユーザーがAIのチャットボットに症状を伝えると、症状を分析し、必要に応じて医師とのビデオ面談を勧める。一般医との面談価格はイギリスの場合、1回25ポンド(約3600円)で、専門医と通話する場合はそれよりも高くなる。ユーザーは毎月5ポンドを払って、定額でサービスを利用することもできる。
- **ユーザーが200万人(2019年1月、人口比20%弱)いるルワンダの場合、医師との診察の費用は200RF(約20円/回)**
- Babylonの従業員は現在約170人
- Babylonの目標は「世界で最も先進的な医療AIプラットフォームを構築し、診断をより手軽にし、個人に対応した健康診断や治療を世界に提供すること」
- Babylonは2018年1月に、2500万ドルを調達。フィナンシャル・タイムズ紙によると、評価額は1億ドル超。
- **2019年時点で750M→ユニコーンへ**

Source: Business Insider Japan

# Zipline ドローン物流 (米・ルワンダ)





# Butterfly社 (米) : モバイル式超音波診断機

Contact us

iQ ▾

Pricing

Enterprise

Get a demo

## A new era of healthcare for everyone.

We support organizations across the world who are using Butterfly iQ in low-resource settings to create sustainable healthcare, one iQ at a time.

[Learn more about our mission](#)



# Butterflyの展開地域 2021年1月



出所： Butterfly HP

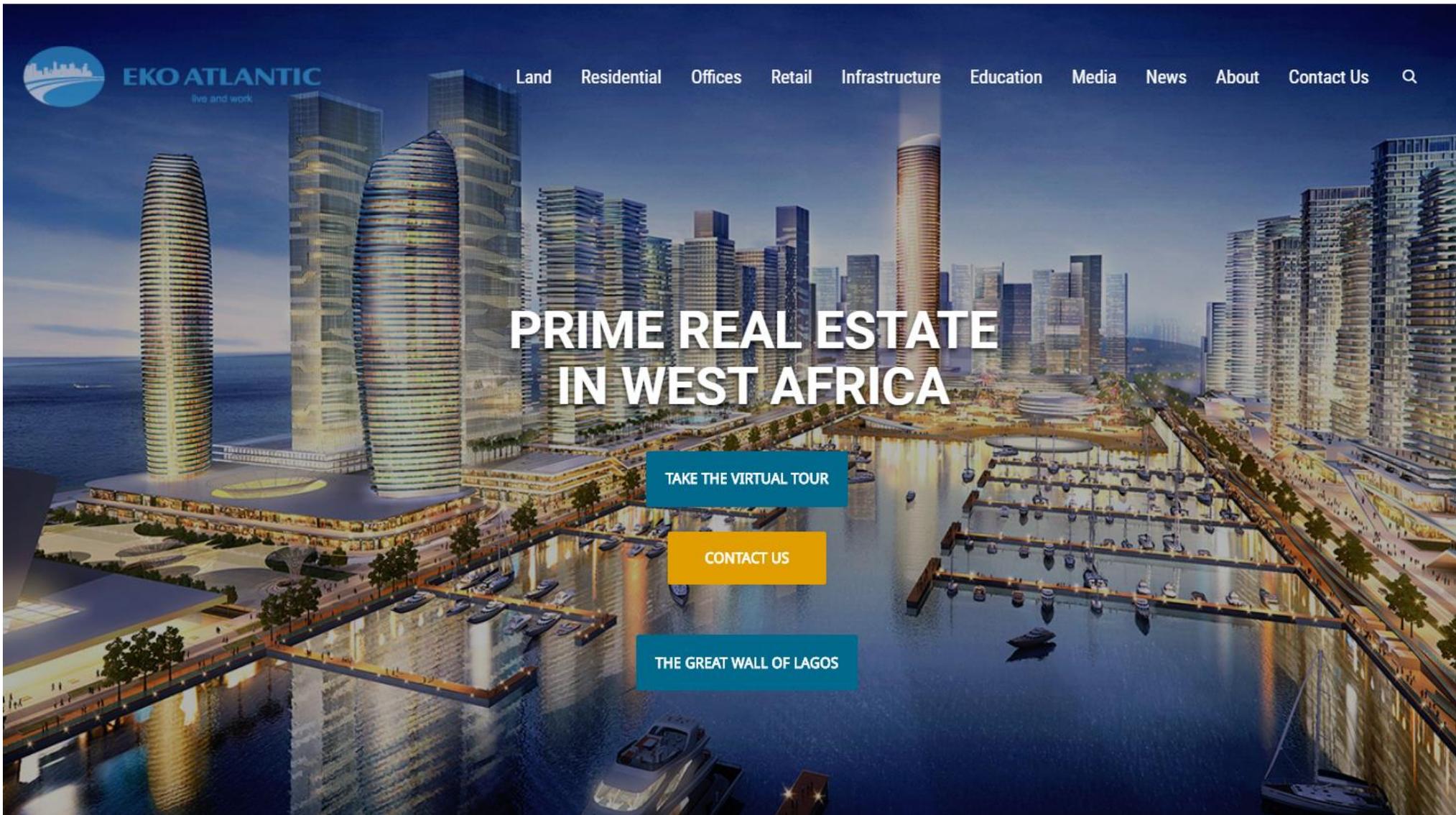
# 「時代換算マップ／タイムマシンマップ」

対象国・地域		2014年一人当たり名目GDP(ドル)	過去の日本でいうと		日本での主な出来事
国	都市				
1	コンゴ民主共和国	412	1959年		富士急ハイランド開業(1963年) 東京五輪(1964年)
2	エチオピア	548	1961年		
3	ウガンダ	599	1961年		
4	タンザニア	686	1962年		
5	セネガル	768	1963年		
6	カンボジア	1,092	1966年		
7	カンボジア	1,104	1966年	多摩ニュータウン発売開始(1965年)	
8	ミャンマー	1,170	1966年		
9	コンゴ民主共和国	1,270	1967年		
10	コートジボワール	1,309	1967年		
11	ガーナ	1,353	1967年		
12	ケニア	1,427	1968年		
13	ケニア	1,461	1968年		
14	ケニア	1,485	1968年		
15	インド	1,499	1968年	ダイエー首都圏展開(レインボー戦略)	
16	ラオス	1,626	1969年		
17	ザンビア	1,697	1969年		
18	スーダン	1,705	1969年		
19	スーダン	1,985	1970年		
20	カンボジア	1,912	1970年	キガリ(ルワンダ) 推定	
21	ベトナム	1,929	1970年	プノンペン	
22	コートジボワール	2,073	1970年		
23	コートジボワール	2,168	1971年	日本万国博覧会開催、マクドナルド1号店 すかいらー1号店	
24	コートジボワール	2,240	1971年	アビジャン	
25	スーダン	2,259	1971年	アディスアベバ(エチオピア)	
26	スーダン	2,538	1971年	コルカタ	
27	スーダン	2,736	1972年	ハルツーム	
28	スーダン	2,893	1972年	デリ	
29	スーダン	2,913	1972年	ハノイ	
30	フィリピン	2,913	1972年	ダイエー戸塚店オープン(当時首都圏最大SC)	
31	ナイジェリア	3,167	1972年	ヤンゴン(ミャンマー)	
32	エジプト	3,336	1973年	ラゴス(ナイジェリア)	
33	エジプト	3,337	1973年		
34	モロッコ	3,392	1973年		
35	インドネシア	3,356	1973年	ナイロビ(ケニア)	
36	インドネシア	3,404	1973年		
37	ナイジェリア	3,416	1973年		
38	ラオス	3,540	1974年	ビエンチャン	
39	ラオス	3,648	1974年	ムンバイ	
40	ラオス	3,648	1974年	カルカッタ	
41	チュニジア	4,467	1975年		
42	アルジェリア	4,499	1976年		
43	ベトナム	4,424	1975年		
44	ベトナム	4,560	1975年		
45	ベトナム	4,560	1975年		
46	イラン	5,165	1976年		
47	イラン	5,250	1976年	自動車普及率が50%(1976年)	
48	タイ	5,550	1977年		
49	タイ	5,786	1977年		
50	アルジェリア	5,886	1977年		
51	アンゴラ	6,128	1977年		
52	アンゴラ	6,084	1977年		
53	南アフリカ	6,354	1977年		
54	イラク	6,474	1977年		
55	ペルー	6,625	1978年	東京国際新空港(成田)開港(1978年)	

38	マニラ	6,719	1978年		東急ハンズ渋谷店開業(1978年)
39	ベネズエラ	6,870	1978年		
40	中国	7,572	1978年		渋谷109開業(1979年)
41	ブルガリア	7,648	1978年		
42	ボツワナ	7,750	1978年		
43	リビア	7,942	1978年		
44	ボツワナ	10,090	1983年		
45	ボツワナ	8,342	1978年		
46	リベリア	9,096	1979年		中央道全線開通(1982年)
47	ルーマニア	10,161	1983年		ティスニーランドオープン(1983年)
48	トルコ	10,518	1984年		
49	トルコ	10,676	1984年		
50	トルコ	10,795	1984年		
51	メキシコ	10,837	1984年		
52	メキシコ	10,951	1984年		
53	マレーシア	11,062	1985年		
54	ブラジル	11,067	1985年		
55	ブラジル	11,271	1985年		関越道全線開通(1985年)
56	アルゼンチン	12,778	1985年		
57	ハンガリー	13,154	1985年		
58	ハンガリー	13,393	1985年		
59	ロシア	14,317	1986年		六本木パークヒルズ開業(1986年)
60	ポーランド	14,330	1986年		海外旅行者500万人突破(1986年)
61	チリ	14,911	1986年		
62	メキシコ	15,723	1986年		
63	メキシコ	15,756	1986年		
64	メキシコ	16,121	1986年		
65	メキシコ	16,146	1986年		
66	メキシコ	16,585	1986年		
67	スロバキア	18,480	1987年		安田火災「ひまわり」購入(1987年)
68	チェコ	18,985	1987年		
69	チェコ	19,045	1987年		
70	チェコ	19,233	1987年		
71	チェコ	20,000	1987年		
72	チェコ	20,167	1987年		
73	チェコ	20,653	1987年		
74	チェコ	21,322	1987年		
75	台湾	21,572	1987年		
76	台湾	23,494	1988年		ドン・キホーテ1号店(1989年)
77	台湾	24,812	1988年		三菱地所「ロックフェア」買収(約2.2千億円)
78	サウジアラビア	25,401	1990年		ペブルビーチ買収(1990年)
79	サウジアラビア	26,266	1990年		海外旅行者1000万人突破(1990年)
80	韓国	28,739	1991年		
81	韓国	29,203	1991年		
82	サウジアラビア	36,412	1993年		
83	日本	37,540	2014年		
84	日本	37,859			
85	ロシア	42,092			
86	ロシア	42,753			
87	ロシア	43,832			
88	イギリス	44,141			六本木ヒルズ開業(2003年)
89	アラブ首長国連邦	44,771			
90	フランス	45,384			
91	日本(2012年)	46,896			
92	ドイツ	47,201			
93	ドイツ	52,374			
94	アメリカ	54,678			
95	シンガポール	56,113			
96	シンガポール	56,065			
97	シンガポール	56,466	2014年		
98	シンガポール	64,524			
99	パリ	70,972			
100	アフガニスタン	99,759			

出所：内閣府「国民経済計算」、日経新聞(2012年10月27日)、IMF - World Economic Outlook Databases(2012年10月版)、AAIC分析

# Eko Atlantic (ナイジェリア、ラゴス)



# Eko Atlantic (ナイジェリア、ラゴス)

## Eko Atlanticの現状、完成予想図など



## プロジェクト概要

- ナイジェリア最大級の企業グループであるChagoury Group傘下のSouth Energyx Nigeria Limitedが開発を進める複合不動産プロジェクト
- 住宅の他、ホテル・商業施設・オフィス等を兼ね備えた巨大案件
- 住宅としては、25万人が入居できるだけの戸数を建設予定
- 1000ha (1千万m<sup>2</sup>) = 千代田区の土地を創出。埋め立て費用約2000億円
- アフリカ最大国（人口1.9億人、2040年には3億人超）。最大都市2000万人の最も高級エリアに創出
- フリーゾーン指定地区。無税、無関税。ゲートシティで治安の担保。専用の発電所完備。



# ナイロビ新幹線 SGR (Standard Gauge Railway) 2018年5月開通



# 今後の路線計画

## New East African railway



Source: Kenyan Railways, Ethiopian Railway Commission, Transit Transport



# アフリカの大型プロジェクト (2020年時点)

## 2 モロッコ

Agadir Urban Development Program... 6320億ドル



## 1 セネガル

DiarnadiolakeCity.....2000ha, 20億ドル



## 3 ベナン

Seme City  
..... 200ha, 140億ユーロ

## 4 ナイジェリア

Eko Atlantic ..... 1000ha, 4000億ドル  
Centenary City.... 1262ha, 180億ドル  
Lekki ..... 16500ha, 13.5億ドル



## 5 南アフリカ

Ntshongweni..... 2000ha, 18億ドル  
Cornubia..... 1200ha, 15億ドル



## 6 エジプト

New Administrative Capital  
..... 70000ha, 450~580億ドル  
ElAlameinCity  
..... 202ha, 13億ドル



## 7 ケニア

Tatu City ..... 2000ha, 18億ドル  
Konza Techno City..... 2000ha, 3.68億ドル  
Tilisi ..... 160ha, 400万ドル



## 8 ルワンダ

Kigali Innovation City ... 70ha, 20億ドル

## 9 タンザニア

USA River ..... 160ha, 10億ドル  
Salama Creek ..... 80ha, 10億ドル  
Safari City ..... 237ha, 10億ドル

## 10 ザンビア

Nkwashi ..... 1254ha, 15億ドル



# 内容

## 始めに

### 「超加速経済アフリカ」

- ディスラプティブイノベーションとタイムマシン
- 投資先の事例

## 今後への示唆

「アフリカにおいて、最大の課題かつ成長分野であるヘルスケア関連領域に特化し投資を行い、日本の技術・ノウハウ等を活用し、社会問題の解決と持続的事業を実現する」

## 【主な投資先 2021年10月時点 30社】

### ①単科/高度医療領域 4社



1.ルワンダ・タンザニア：透析センター



2.ケニア：総合病院



3.ケニア：CVSクリニック



4.ケニア：産婦人科特化

### ④健康維持/公衆衛生/食・農業 2社



29.ルワンダ、ケニア、ウガンダ、DRコンゴ  
タンザニア、ブルンジ など  
：コミュニティ・ウォーターサービス



30.エチオピア：FMCGのNO1ブランド  
(石鹸・洗剤、油他)

### ②ヘルスケア・テック/イノベーション分野 18社



5.ケニア：HC特化EC



7.エジプト：歯科特化型EC



9.ケニア・米：病院向けITサービス



11.ナイジェリア他：  
アフリカ国際間送金PF



13.ナイジェリア：  
現地No1ネット医療保険



15.エジプト：地域No1の  
遠隔メンタル診断サービス



17.トーゴ・ベナン：西アフリカ諸国  
でのNO1,SuperAppサービス



19.日本・ルワンダ他：医療IT  
プラットフォーム



21. 南ア：Life Q  
ウェアラブルデータ分析・  
アルゴリズム提供



6.南ア：病院予約PF/医療Bigデータ



8.ナイジェリア：ナイジェリア  
NO1ウーバー型物流PF



10.ケニア：マイクロ・インシュランス



12.ケニア：ケニアNO1ウーバー型物流PF



14.ナイジェリア他：現地NO1のEMR



16.エジプト：  
地域No1の遠隔読影サービス



18.欧米：  
痛み軽減のデジタル治療機器



20. ケニア：InsurTech  
保険管理PF/API開発・提供



22. ナイジェリア：crowdForce  
薬局含む小売向けフィンテック

### ③医療サービス領域 7社



23.ケニア：民間版911サービス



24.ナイジェリア：輸血特化型物流サービス



25.ケニア：検査センター（CT、MRI等）



26. 印・米：小型医療機器 X AI



27.ナイジェリア：医薬品卸ECモデル

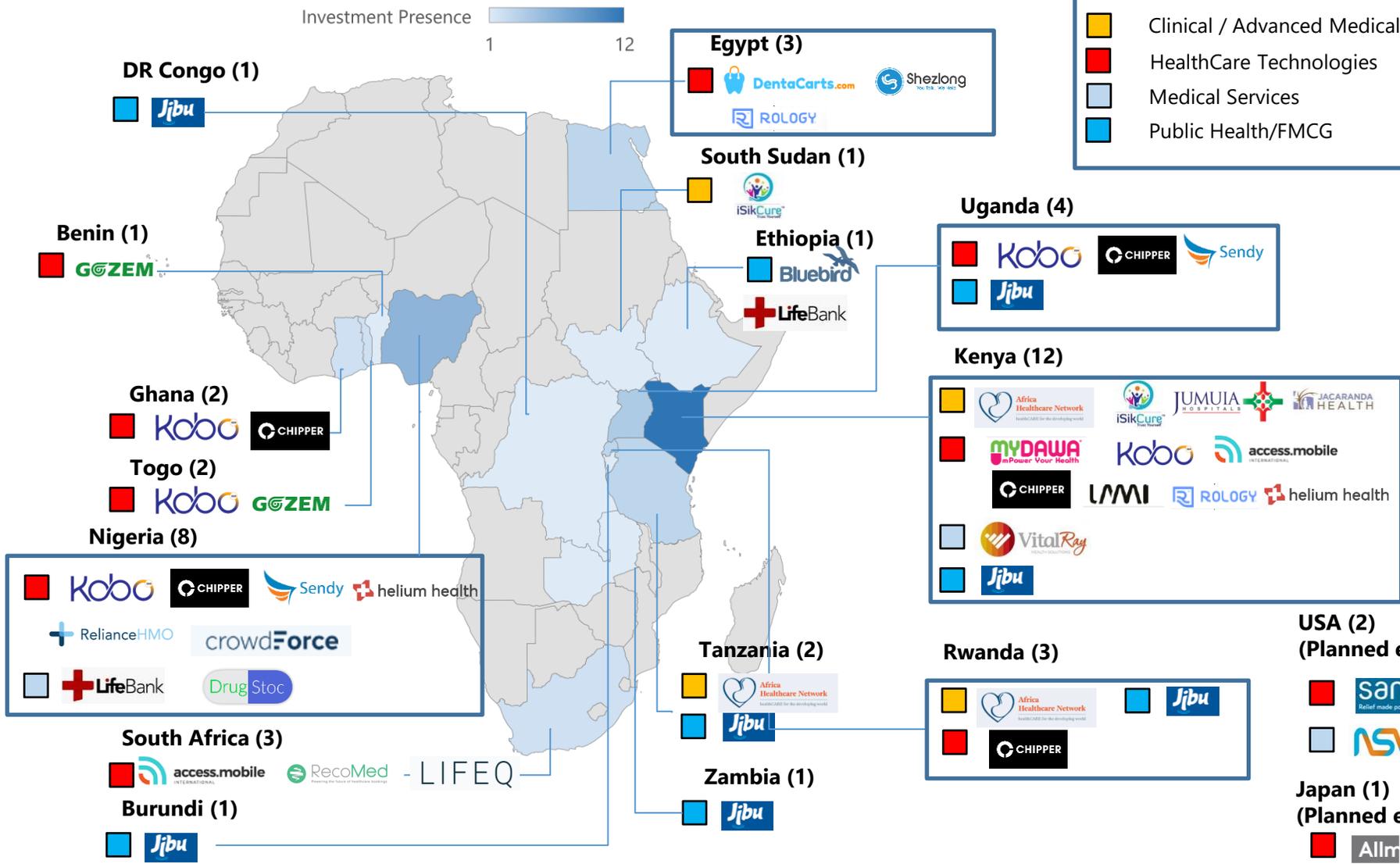


28.ケニア：注射器等の医療消耗品の  
製造・販売

# 投資先の国別事業展開状況 2021年10月

Total Investments by Category : 30

Yellow	Clinical / Advanced Medical Care	4
Red	HealthCare Technologies	18
Light Blue	Medical Services	6
Dark Blue	Public Health/FMCG	2



■ Clinical / Advanced Medical Care   
 ■ HealthCare Technologies   
 ■ Medical Services   
 ■ Public Health/FMCG

# Chipper Cash が 2 B に

## Chipper Cash gets \$2B valuation with \$150M extension round led by FTX



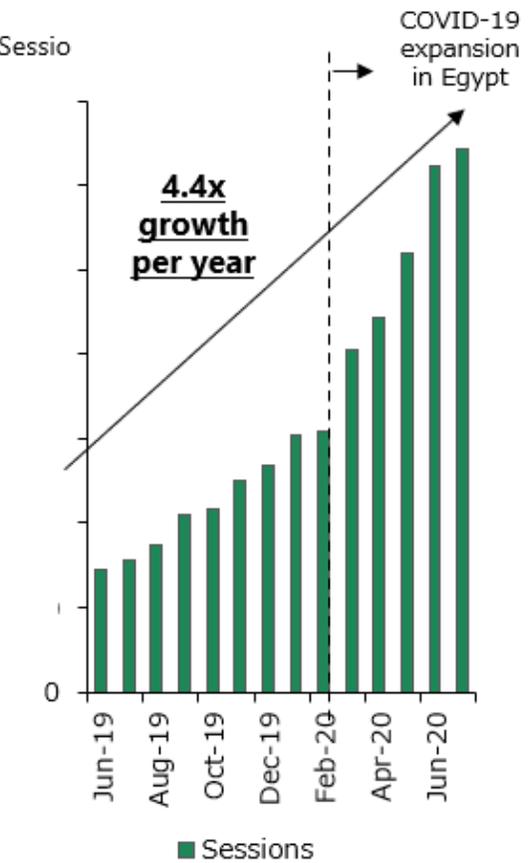
Tage Kene-Okafor @ulonnaya / 1:00 PM GMT+8 • November 2, 2021

Comment

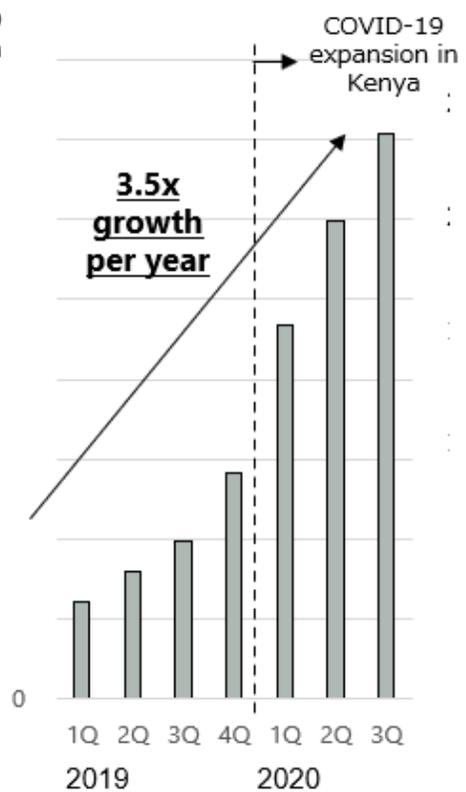


# Covid19 により多くの投資先企業が急成長した

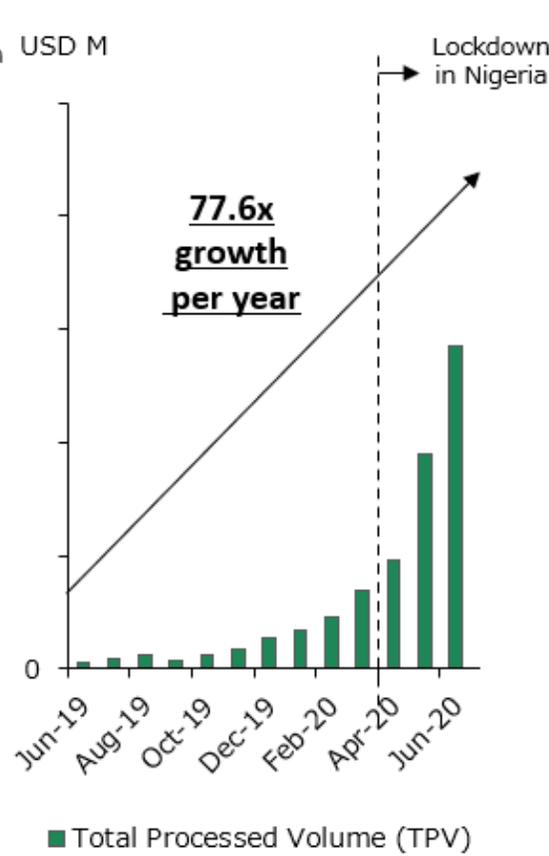
**Tele-Diagnosis/Online Therapy**  
Shezlong (Egypt)



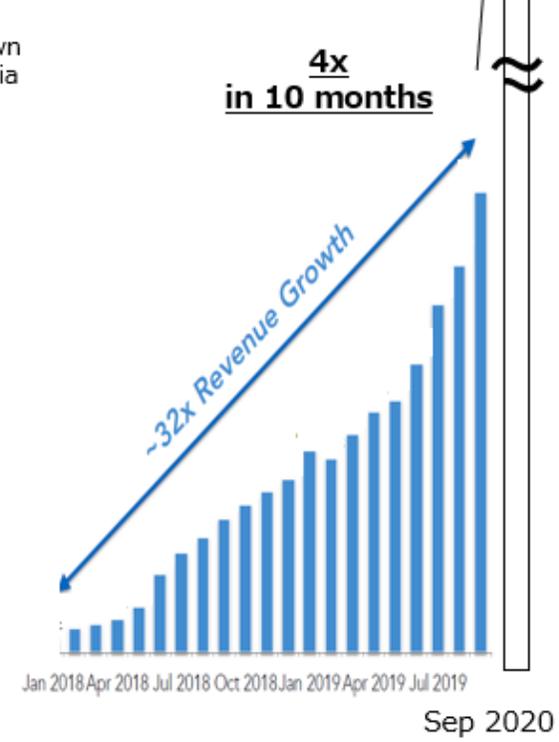
**Healthcare EC**  
MyDawa (Kenya)



**Overseas Money Transfer**  
Chipper Cash (Nigeria, Kenya others)



**Mobil HC Insurance**  
Reliance HMO (Nigeria)



**オンライン診療、ヘルスケアEC、フィンテック（送金、スマホ医療保険など）が急加速**

# OTCだけでなく、医科向け医薬品（処方箋薬）も販売。 ニューノーマル時代の新しいモデルが動き始めている

## About MYDAWA (Kenya)



### Company Profile

East Africa's No. 1 Online EC Platform (Amazon-like platform specializing in medical products) Not only general drugs but also prescription drugs are sold on EC. Deliver Greater Nairobi in 4 hours.

## Digital transformation in healthcare are starting to take off



# Helium Health (ナイジェリア) EMRを通じたデータドリブンの医療エコシステムを構築



helium health

Features About Contact

## THE #1 EMR PROVIDER IN WEST AFRICA

Years ago, we set out to transform the way hospitals run across Nigeria. Today, our products are deployed at the most respected private and government healthcare facilities across Africa, solving problems we hadn't even dreamed of back then.

[SCHEDULE A DEMO](#)

### 創業家/CEO/CTO : Adegoke Olubusi

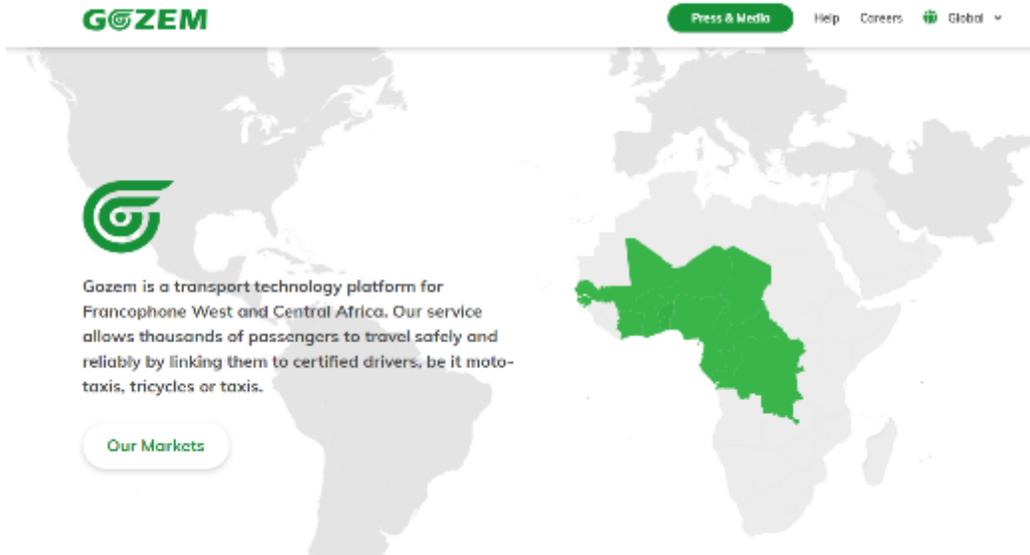
- ジョーンズホプキンス大学の卒業生で、以前は米国のeBay、PayPal、Goldman Sachsでのエンジニア経験有。
- Forbes U-30 サブサハラアフリカに選出



**No1でOnly1。サブスクモデル、データ共有**

# Gozem (Togo, Benin)

## Super APP in Francophone Africa



企業名	Gozem Pte Ltd (設立 2018年11月)
創業者・CEO	Raphael Dana
所在地	シンガポール
その他	Virtual Network Group, Plug and Play, Business Angel Network of SEA (BANSEA), Family Offices in Brazil and Greece

### 事業概要

- Gozemは西・中央アフリカで東南アジアのGrab/Go-Jek同様のビジネスモデル (Super App)。現在は移動 (バイクタクシー等) がメインサービスであり、徐々にサービスメニューの拡充を目指す
  - 輸送サービス (オートバイ、自動車、三輪車) を通じてユーザー数の拡大を図り、ユーザーベースを活用するための金融、保険、薬局デリバリーなどへのサービスを拡大
  - Gozem Walletを提供し、現在25%はGozem Walletによる決済
- トーゴとベナン**で展開し、今後の展開予定国
  - 2021年以降： ガボン、カメルーン、DRC、ブルキナファソ、マリ、セネガル、コートジ、ガーナ

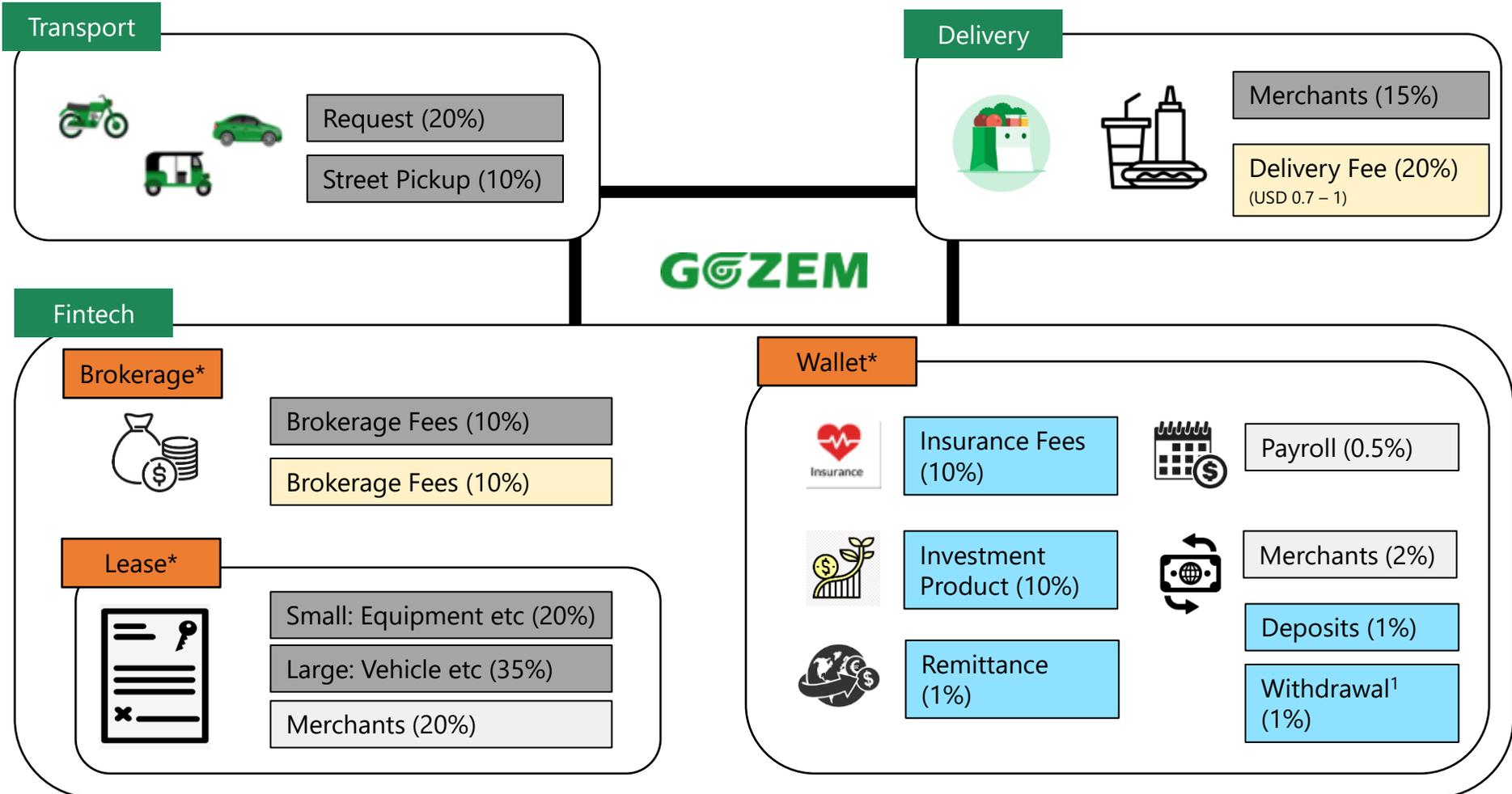
### 今後の展開

- 2021年にガボン進出。またトーゴ等でも新たに3都市進出
- Gozemは宅配、金融サービス、保険、薬局デリバリーなど含め、包括的なスーパーアプリを目指す



創業者：Raphael Dana

# Gozemは輸送サービス（タクシー等）を軸に顧客プラットフォームを構築し、更にサービスを提供



Legend :



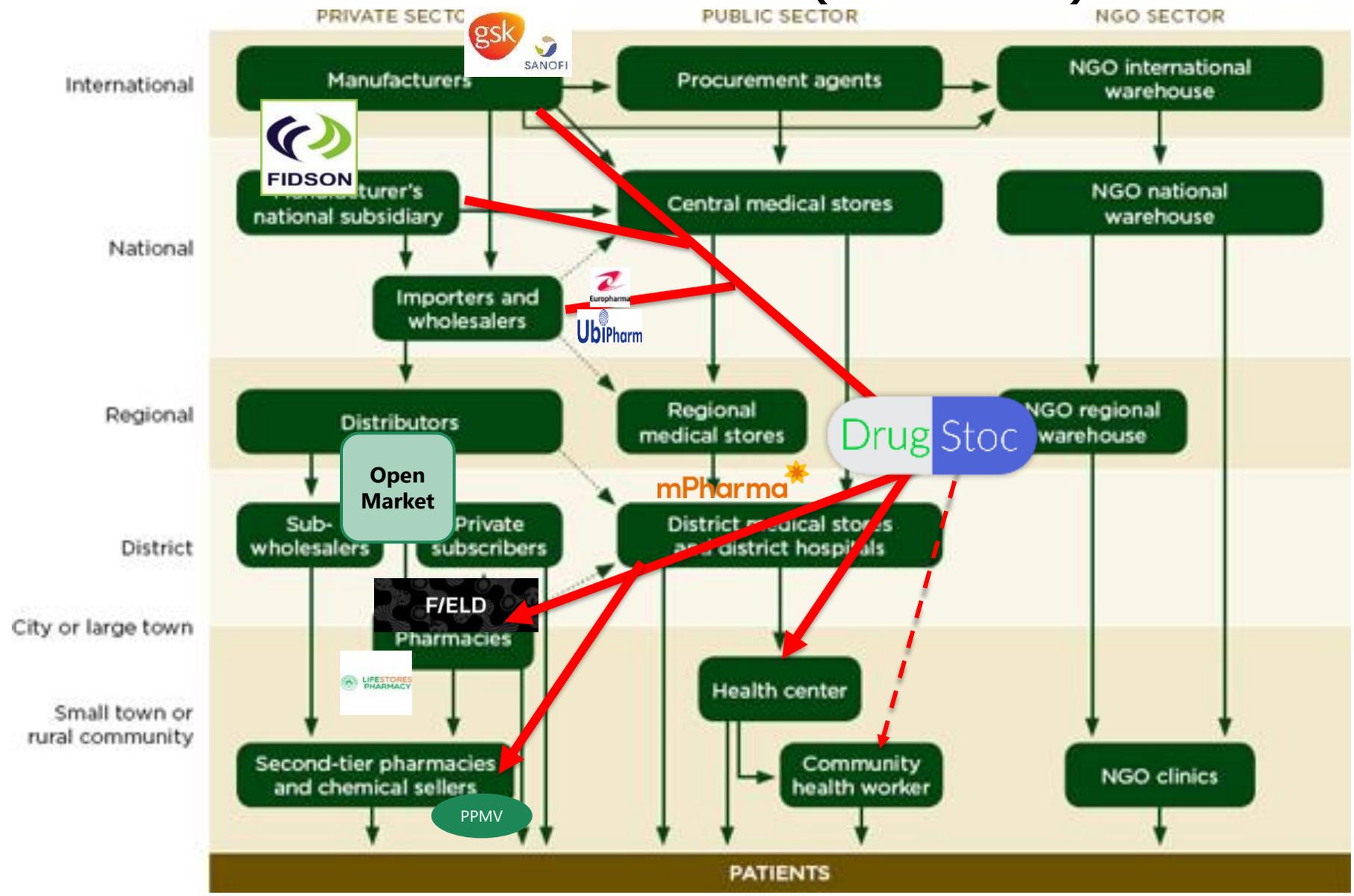
Source : Management Discussion, AAIC Analysis

• Receivable from partner banks

1. Withdrawal from bank usually at 3-10%

# DrugStoc

## 医薬品の卸売ECモデル(ナイジェリア)



# 内容

## 始めに

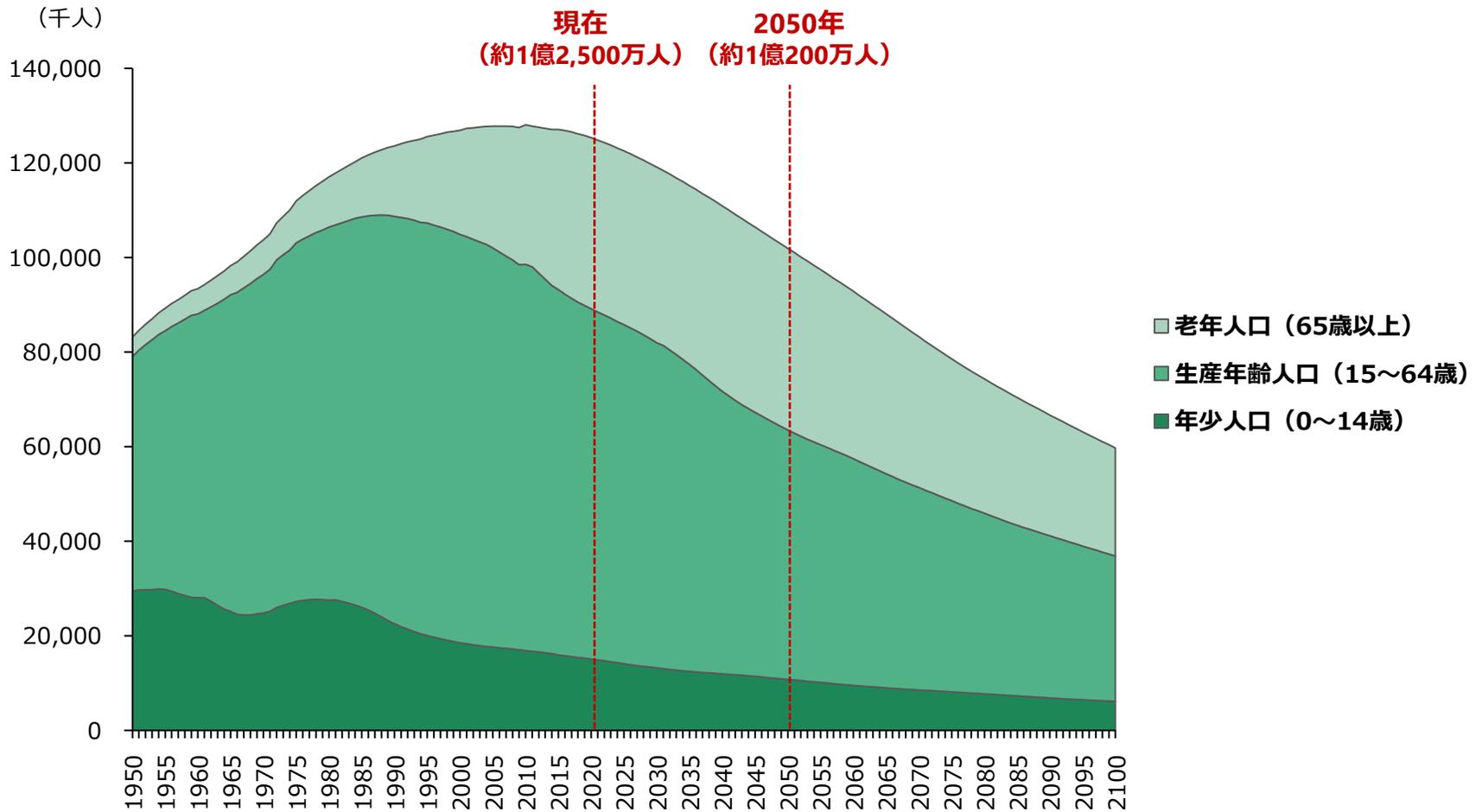
### 「超加速経済アフリカ」

- ディスラプティブイノベーションとタイムマシン
- 投資先の事例

## 今後への示唆

# 日本の内需は今後成熟から大縮退時代を迎える

## 日本の将来推計人口



**日本の内需は今後急速に縮退する**

# 2050年までに日本に起こること

	現在	将来（～2050年）
<b>人口</b>	1億2,521万人（2018年1月）▲249万人 1億2,770万人（2011年）	9,515 万人(2050年) ▲3255万人 (▲25%)
<b>出生数</b>	<b>86.3万人（19年）</b> 92.1万人（18年） 100.8万人(2015年) 107.1万人(2010年)	55.7万人(2050年)
<b>死亡者数</b>	<b>138万（19年）</b> 137万人（18年） 130.2万人(2015年) 119.7万人(2010年)	159.3万人(2050年)
<b>高齢者（65歳以上）比率</b>	28%（2018年） 26.8%(2015年) 23.2%(2011年)	39.6%（2050年）
<b>空家率（住宅）</b>	13.6%(2018年) 13.1%(2008年)	36%（2040年）
<b>社会保障給付費</b>	120.2兆円（2018年） （一般会計税収60兆円） 95兆円(2008年)	190兆円(2040年)
<b>国・地方の負債合計</b>	1107兆円(2018年)（1.25%で13兆円） 862兆円(2011年)	2,000兆円超(2050年)（2%だと40兆円）

▲52万人／年  
▲45万人／年  
▲29.4万人／年  
▲12万人／年

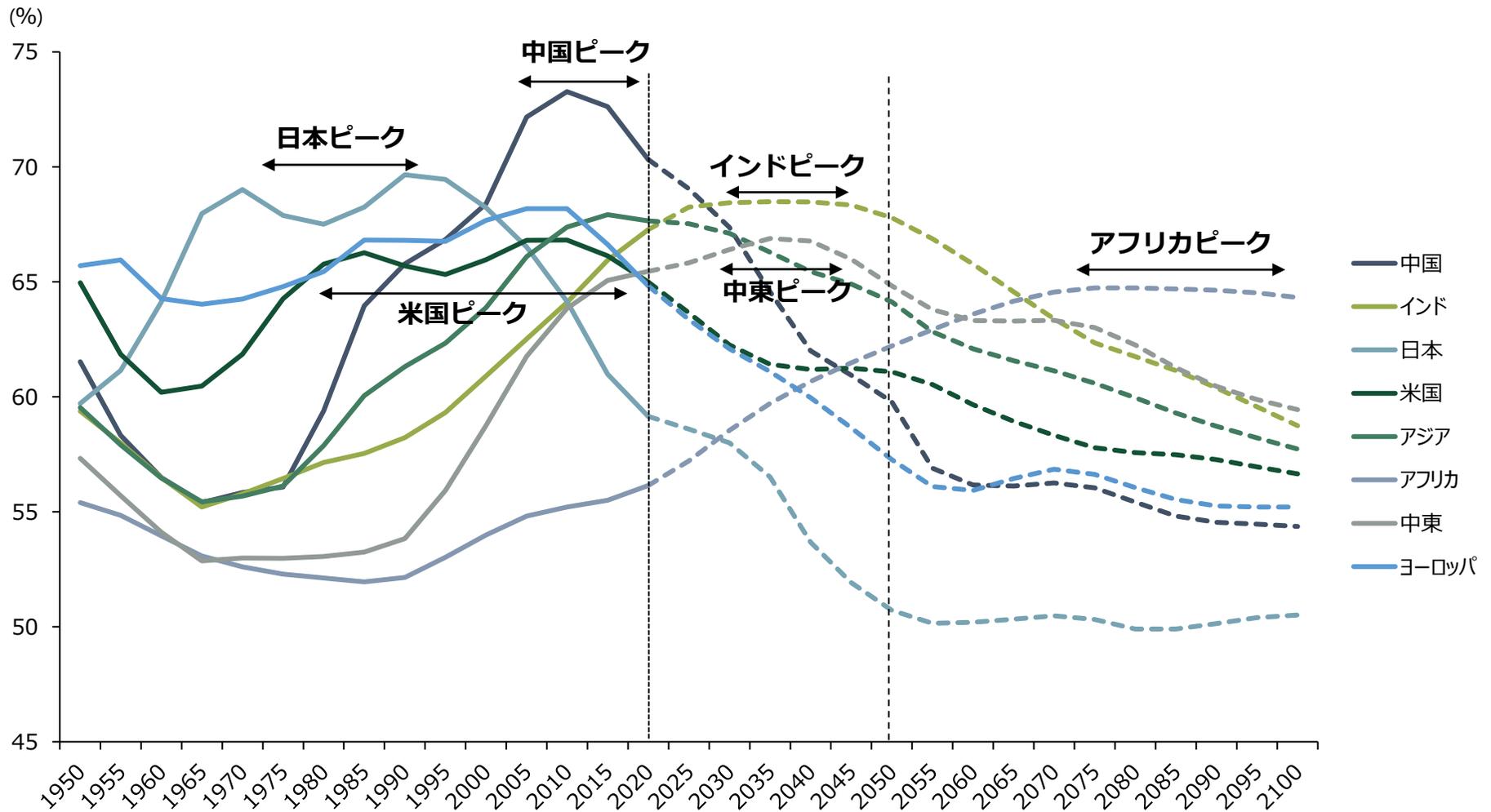
▲103万人／年



**年間80万人～100万人減少が50年間以上は続く**

# アフリカはこれからピークを迎える

## 生産年齢人口比率推移予測(15~64歳人口/総人口)



# 日本はどうすればいいのか？

## 個人：「大志を抱け！」「成長する世界で戦える力を持つ」

- 大志・気概、飛び込む勇氣、人に負けない努力・・・

## 企業：「世界で勝つ」

- 国内再編＋海外進出
- 事業ポートフォリオの総見直し
- 第4次産業革命（DX革命）と米中30年戦争に備える
- 海外M&Aのスキルを身に着ける（12年ぶりの大チャンス）
- 世界で勝つためのマネジメント力／人材を育てる／ノウハウを身につける

## 国／自治体／地方：「開国！＝世界から人材・資金・企業・情報呼び込む」

- 世界から資金・人・企業・情報呼び込む。
- 人工均衡法：減った人口分を受け入れる
  - － インバウンド＋長期滞在者＋合法移民
- 世界で戦える人材を育てる教育（中高交換留学30%・・・）
- 自治体数、自治体職員、建物、道路、学校、予算、コンパクトシティ すべて半減
- 社会給付半減 X 消費税20%・法人税20%・所得税20%（フラット税制）

# 大志を抱け！

人生は1回だ。世界にむけて全力で挑戦しよう！

- 天命を知る
- 夢と情熱、楽しくやる
- 継続、歩き続ける、勝つまでやる
- "プランニング"